



安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

平成30年 夏 第55号

あかり

A K A R I

新任のご挨拶	1
新採用者自己紹介	2
『食事の工夫で夏バテ対策』	4
初診前相談をご利用ください！	4
新たな、院内認定てんかん看護師・ 院内認定重症心身障がい看護師の紹介	6
楽しい思い出づくりを	6
外来再診の診療体制/医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本	8

新任のご挨拶

看護部長 松山 みどり

この度、看護部長でまいりました松山みどりです。5年ぶりの帰郷という懐かしさに浸っています。スタッフの皆様も声をかけて下さりうれしい限りです。

のどかな環境にある病院ではありますが、入院、通院されている方のもつ問題は大きく、障害をもち生活し、多くの方が病に悩んで入院を余儀なくされています。その方々のために、多くの専門スタッフと協働して、最善の医療を提供し、心のこもったケアを提供していきたいと思っています。看護部は病院職員の半数以上を占める部署です。看護師である私達は、ほとんどのケアの最終責任者であるという立場にあることを肝に命じ、一人ではできないことも看護スタッフが協力すればなんでも可能になることを信じて毎日取り組んでいきたいと思っています。そのために、皆さんの知恵と力と技術と協力が

必須です。また、それぞれの立場のスタッフが専門性を生かしながら、人と人のつながりを大切することが、患者さんとのつながりを大切にするということになり自分たちの目指す看護につながっていくと思います。病院の理念のとおり、「安心と信頼が得られる医療と看護」を実践することが使命であろうと思っています。

5年ぶりに帰り、この病院に存在していたはずなのに、知らないことが多いことに驚いています。医療の進化は日進月歩であるように、病院の医療もどんどん先に進んでいました。これから、一から情報収集して一人ひとりの皆さんと関わり、理解し合い協力できる組織でありたいと思います。微力で月並みではありますが、精いっぱい頑張ってまいりたいと思いますのでよろしく、お願いします。

新採用者自己紹介

精神科レジデント

野中 与志子

抱 負 ■ これまで主に山梨や神奈川で精神科医として働いていました。ここ数年てんかんの患者さんとたくさんのお会いがあったことをきっかけにこちらに勉強しにまいりました。私は時々山に登ります。まだてんかんという山には登り始めたばかりですが、誠実・真摯をモットーに(時に熱く)がんばります。よろしくお願いいたします。

神経内科レジデント

岡山 公宣

抱 負 ■ 4月に赴任しました岡山公宣と申します。これまでは出身地である兵庫県内で神経内科医として勤務しておりました。センターでしっかりとてんかん診療について学び、ここ静岡や、またいずれ地元に戻ってからも、少しでも誰かのお役に立てるよう、日々を大事に過ごしていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

小児科レジデント

福岡 正隆

抱 負 ■ 皆様初めまして。本年度からレジデントとして勤務させて頂いております福岡 正隆と申します。広島大学の出身で、大阪市立総合医療センターという市民病院で初期研修、小児科レジデント、小児神経内科シニアレジデントとして働いて参りました。てんかん患者の診療に携わる機会も多く、難治性の経過を辿る方を静岡てんかん・神経医療センターの先生方に紹介する機会もありました。紹介先でどのような診療が行われているのかが興味があり、勉強に参りました。よろしくお願いいたします。

心理療法士

発達支援室 長塚 文音

抱 負 ■ まだまだ至らぬ点はありますが、患者様とご家族に寄り添いながら、豊かな人生を歩むことができる支援を共に考えていけるよう、尽力いたします。

A2病棟 看護師

堀智 衆

抱 負 ■ 看護師という夢を叶え、いざ働き始めると分からないことばかりで不安や緊張の連続ですが、先輩方の御指導のもと日々頑張っています。一日でも早く根拠と自信を持ち、より良い看護を提供できるように努力し、毎日成長していきたいです。よろしくお願いいたします。

A2病棟 看護師

吉池 智子

抱 負 ■ 高齢者施設を退職し就職しました。神経難病という専門の病棟で多くの事を学びたいです。至らないところばかりですが、毎日一生懸命、笑顔を忘れずに頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

A2病棟 看護師

麻生 志保

抱 負 ■ 初めて神経難病や認知症の患者様と接し、自分に何が出来るのかと悩むことも多いですが、毎日、笑顔だけは忘れずに働いています。時代と共に医療や制度が変化していく中で、患者様や家族が助け合っただけを取れるよう、知識と技術そして心を磨いていきたいです。

A2病棟 看護師

永井 美香子

抱 負 ■ 入職したばかりで不安もありますが、A2病棟の皆さんに日々支えて頂き感謝しています。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

A3病棟 看護師

志田 夏樹

抱 負 ■ 日々、学ぶことが沢山ありますが、患者様に安全・安楽な看護を提供できるように努力していきます。また、笑顔で元気よく基本を忘れずに一人一人の患者様のニーズに応えられるようにしていきます。

A4病棟 看護師

笹田 明里

抱 負 ■ 新卒者という言葉に甘えず、知識と技術力をつけ患者様やその御家族と信頼関係が築けるよう努力していきます。よろしくお願いいたします。

A4病棟 看護師

宮地 望

抱 負 ■ 今まで働いていた病院との違いも多く戸惑うこともありますが、周りの方々に助けていただきながら早く仕事に慣れるように頑張ります。患者様や御家族、スタッフに信頼して頂ける看護師になれたらと思います。

A4病棟 看護師

佐藤 美希

抱 負 ■ 専門性のあるてんかん看護の知識と技術を学び実施していきたいと思っています。また、配属された小児てんかん病棟では、患者様だけでなく御家族との関わりも深いため信頼関係を築きながら看護していけるよう励んでいきたいと思っています。

A5病棟 看護師

伊藤 里江子

抱 負 ■ A4病棟で3年、その後8年間急性期病院にいました。病気と共に生きていく患者家族への家族看護を学び、提供したいと考え、今回戻ってきました。一人でも多くの方に、この病院に来て良かったと思っていただける様な看護を提供出来る様に努めていきたいです。

A5病棟 看護師

土本 瞭

抱 負 ■ 患者様の個別性に応じた看護が提供できるよう、看護の知識や技術の向上に力を入れ成長していけるよう努力していきたいと思います。

A5病棟 看護師

松本 知未

抱 負 ■ A5病棟に配属となり、発達段階に合わせたてんかん看護の難しさを感じています。てんかん、発達障害について学びを深め、適切な発作の観察と記録を行うとともに、患者様とご家族に信頼を置いて頂けるような看護を目標にしていきたいと思います。

A6病棟 看護師

黒柳 公佳

抱 負 ■ 私が配属されたA6病棟では、成人期のてんかんを持つ患者様が対象です。疾病自体や疾患を十分に理解されていないことで発達課題が達成できないこともあります。私は、これから知識・技術を身に付け、また先輩看護師の看護を参考に、その人らしさを支えていきたいです。

A6病棟 看護師

菅 千尋

抱 負 ■ 成人てんかん病棟に配属されました。てんかんについて理解を深め、患者様ひとりひとりに寄り添い、患者様がてんかんと上手に付き合っていけるような看護を提供できるように、常に笑顔で頑張ります。よろしくお願いします。

B1病棟 看護師

大川 公輔

抱 負 ■ 新しい環境で緊張していましたが、丁寧に教えてくださる病棟職員の先輩方、笑顔で受け入れてくださる患者様方のおかげで緊張もなくなり仕事にも慣れてきました。このような支えがあることに感謝し立派な看護師になれるように努力していきます。

B2病棟 看護師

森田 奈津妃

抱 負 ■ 重症心身障がい児者病棟に配属となり、患者様の全体を看れるように努力していきたいです。

B2病棟 看護師

佐藤 亮太郎

抱 負 ■ 不器用ですが精一杯がんばって、少しでも早く一人前の看護師になれるよう努力します。

B2病棟 看護師

澁谷 玲那

抱 負 ■ 重症心身障がい児者病棟に初めて配属されました。まだまだ分からない事が多く教えていただきながら学んでいます。頑張りますのでよろしくお願いします。

C1病棟 看護師

犬塚 美緒

抱 負 ■ まだまだ慣れないことが多く、発見と学習の毎日ですが、患者様一人ひとりの関わりを大切に、想いに寄り添った看護ができるよう努めていきたいです。

C1病棟 看護師

小林 香苗

抱 負 ■ 出産・育児を機に家庭に入っていましたが、4月から仕事に復帰しC1病棟に配属となりました。まだ慣れないこともありますが、患者様の日々の生活が安全・安楽であるように頑張ります。

C2病棟 看護師

加藤 誠也

抱 負 ■ 働き始め2ヵ月が経ちました。重症心身障がい看護は長期間、同じ患者様と関わることが多く、その中で個別性のある看護を行う必要があると感じました。患者様ひとりひとりのことを考えて行動し、患者様に信頼して頂けるような看護師になりたいと思います。

C2病棟 療養介助専門員

中野 丹音

抱 負 ■ 自分にとって当たり前の事ができない患者様達の思いを受け止めケアしていく事が療養介助専門員の大事な役割です。この職員にならわがままを言える、関わるのが楽しいと思ってもらえるような、患者様にとって身近な存在となれるように、たくさん関わりを持つようにしたいです。

『食事の工夫で夏バテ対策』

栄養管理室 福田真弓

梅雨が明けると本格的な夏が到来します。じっとしていても汗が出て、寝苦しさからくる寝不足や、食欲不振など「夏バテ」になりやすい条件が揃います。そこで夏バテを防ぐための食事づくりにおける工夫を紹介します。

夏バテを予防する為の食事作りにおいて、米飯やパ

ン等の主食と共に良質のタンパク質(肉や魚、卵、豆腐といった大豆製品等)を毎食1～2品取り入れましょう。暑いとビタミンB群が消耗されやすくなるので、肉や豆類、きのこ類、ニラなどのほか、ビタミンCを豊富に含む野菜(ブロッコリー、キャベツ、ピーマン等)や果物(特に柑橘類)等も食事に取り入れるようにしましょう。

茄子の梅ポン酢和之



材料(1人分)

茄子	1本	☆
大葉	1枚	
梅干し	小さいサイズ1個	
みりん	小さじ1	
ポン酢	小さじ1と1/2杯	
ごま油	小さじ1	
白ごま		

下ごしらえ

- ・なすはヘタとガクを落とします。
- ・梅干しは種を取って包丁で叩きます。
- ・大葉は千切りにします。
- ・☆の調味料を混ぜ合わせておく。

作り方

- 1 茄子はしま模様に皮を剥きラップに包み、耐熱容器に入れてレンジ600Wで4分加熱する。取り出して冷水につけ、粗熱を取る。
- 2 茄子は1cm間隔で輪切りにし、お皿に盛りつける。
- 3 混ぜ合わせた☆を2にかける。
- 4 最後に大葉を乗せて完成。

豚焼き肉のネギ塩だれ



材料(1人分)

豚ロース肉(しょうが焼用)	80g	☆
ネギ	半分	
塩	小さじ1/4	
レモン汁	小さじ1と1/2	
ごま油	大さじ1	
粗びきしょう	少々	

下ごしらえ

- ・ねぎはみじん切りにし、ボールに入れて☆の材料を加えて混ぜ合わせる。
- ・豚肉は両面に塩、粗びき黒こしょう(分量外)を少々ふる。

作り方

- 1 フライパンにごま油小さじ1(分量外)を中火で熱し、豚肉を並べ入れて両面をこんがり焼く。
- 2 皿に盛り、ネギ塩だれをかけて、粗びき黒こしょうを適宜ふる。

初診前相談をご利用ください！

当院では初診に関するご相談をソーシャルワーカーが伺っております。

当院への受診を迷っている、当院へ受診を考えているけど、予約する前に聞きたいことがある、気になることがあるなどのご相談がありましたら、お気軽にお尋ねください。

患者様、ご家族、医療機関、福祉機関、関係機関の皆さまから、お電話でのご相談を受付しています。

平日11:00～13:00に054-245-5446(病院代表番号)にお電話いただき、「初診前の相談希望」とお申し付けください。

初診前相談でよくいただく質問です ～てんかん科の場合～

Q. 現在通院中の病院からの紹介状がなくても受診できますか？

A. 紹介状がなくても受診は可能です。

ただ、紹介状があることで、これまでの治療経過がわかり、その情報をふまえ、より具体的な治療のお手伝いをすることができます。できる限り現在主治医の先生と相談してみてください。また紹介状がない場合は、別途費用がかかることをご了承ください。

食欲を増進させるために、以下の点に気を付け、食事づくりを工夫してみましょう。

●肉を食べる場合は脂身の少ないものを使用する。

タンパク質の量は、脂肪分の多さに比例して少なくなります。脂身の少ない肉を選びましょう。

例)もも肉、ひれ肉、鶏むね肉、ささみ等

●酸味を利かせる。

さっぱりして食欲が増します。例)酢の物、お寿司、レモンの搾り汁等

●香辛料や香味野菜を上手に利用する。

香辛料や香味野菜には胃液の分泌を促進し、食欲を増進させる働きがあります。

例)胡椒や唐辛子、ニンニク、カレー粉、わさび、生姜、みょうが、ネギ、大葉等

●塩味のある食材を少し取り入れる

梅干し、漬物、アンチョビ等も食欲が増します。ただし、多く摂りすぎないように注意が必要です。

小松菜としらすの柚子胡椒スパゲッティ



材料(1人分)

小松菜	1株
干し椎茸(薄切り)	3g
水	50ml
スパゲッティ	80g
オリーブオイル	適量
んにく(みじん切り)	2g
シラス	25g
醤油	9g
柚子胡椒	3g
胡椒(黒)	少々

☆

下ごしらえ

- ・小松菜は沸騰したお湯で30秒ほど茹で、冷水にとり水を絞って、3cmの長さに切る。
- ・耐熱容器に干し椎茸と水を入れ、600Wのレンジで1分加熱する(戻し汁は取っておく)。
- ・☆の調味料を混ぜ合わせておく。

作り方

- 1 たっぷり沸騰したお湯(分量外)に塩(分量外)を入れ、スパゲッティを袋の表示の1分半前まで茹る。
- 2 フライパンに多めのオリーブオイルとニンニクを入れ熱し、香りがでたら小松菜、干し椎茸、しらすを入れ、さっと中火で炒める。
- 3 さらに干し椎茸の戻し汁、スパゲッティ、☆の調味料を加えて混ぜて完成。

冷たい食べ物や飲み物の食べすぎは、胃の働きを弱め、食欲低下に繋がります。ほどほどに食べるようにしましょう。また、睡眠を十分に取、規則正しい生活と適度な運動を心がけ、生活のリズムを保つよう心がけましょう。

Q. 受診を検討していますが、病状や病院までの距離を考え、直接入院したいと考えています。そのような相談は可能ですか？

A. まずは患者様の現在の状態を教えてください。

その情報を元に当院に直接入院をしていただくのが適当かどうか、担当の医師が患者様や御家族と直接ご相談させていただきます。

Q. まだてんかんと診断されていませんが、気になる症状があります。この症状がてんかんかどうか相談したいのですが、そのような目的で受診しても構いませんか？

A. 構いません。

当院にて画像検査・脳波検査等を受けていただき、気になる症状がてんかんかどうか精査させていただきます。

Q. 初診日はどのような検査を受けますか？その日のうち検査結果を説明してもらえるのですか？

A. 当日に検査結果が出ます。初診日には血液検査・脳波検査・MRI/CTなどの検査を受けていただきます。検査結果はすべてその日のうちに説明します。



新たな、院内認定てんかん看護師・ 院内認定重症心身障がい看護師の紹介

平成20年度から院内認定てんかん看護師、院内認定重症心身障がい看護師の育成が始まりました。平成30年3月に、2年間の研修を修了し井上院長から認定証が授与され、新たに院内認定てんかん看護師1名、院内認定重症心身障がい看護師1名が加わりました。これで、院内認定てんかん看護師9名、院内認定重症心身障がい看護師4名となり看護の質の向上に努めていきます。

院内認定てんかん看護師 B1病棟副看護師長

檜垣 奈美

てんかんをもつ患者様、ご家族の方の悩みや不安について一緒に考え、退院後の生活が過ごし易くなるように、看護職員や多職種の方と協力しより良い看護を提供していきたいと思っています。また地域との連携を図り、啓発活動に取り組むことで、てんかんに対する社会のイメージを少しでも変えていくことができ、てんかんをもつ患者様やご家族の方が、気兼ねなく生活できる環境を少しずつでも作っていきたくと思っています。院内認定てんかん看護師として常にPurple Day Everyday精神でこれから活動を盛り上げていきたいです。

院内認定重症心身障がい看護師 C1病棟看護師

丸山 有輔

今年度から新しく院内認定重症心身障がい看護師になりました丸山と申します。重症心身障がい看護は、とてもやりがいがあると同時に、患者様の日常生活援助には幅広い知識・技術が必要であると感じております。知識・技術ともにまだまだですが、向上心を忘れず日々勉強していきたいと考えております。また、患者様に対してきめ細やかな援助ができ、他のスタッフからも頼られる存在でありたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

楽しい思い出づくりを

療育指導室 保育士 大石 夏子



当センターの重症心身障がい児・者病棟では「外出行事」を実施しています。

「外出行事」とは、1年に1回、患者様

がリフトタクシーに乗って外出をする取り組みです。行先は、ショッピングセンター、ホテルレストラン、ファミリーレストラン、回転ずし、カラオケボックス、美術館、水族館、科学館、動物園、公園など様々です。患者様やご家族のご希望に沿って、また療育スタッフと看護師で相談をしながら行先や何を楽しむかを検討しています。

外出行事が近づいてくると、外出先でどんなことをしようか、お天気はどうなるかと行事の話題で盛り上がります。晴れるか雨か、天候により行先が変わることもあるので前日の天気予報チェックは欠かせません。出発前から患者様の期待感が高まります。

当日は車椅子ごと乗車ができるリフトタクシーに乗って出発します。目的地では、買い物をする方、ホテルの

レストランで特別な食事やスイーツを召し

上がる方、展示物や動物の鑑賞をされる方、マイクを持って熱唱される方、公園で自然に触れ心地よさを味わう方、行先によって患者様のいろいろな姿がみられます。外出行事はご家族が参加されることもあり、患者様がご家族、スタッフ、現地の方々とふれあいの機会にもなっています。

医療的な事情で外出が困難な患者様は、「外出行事未参加者行事」に参加していただいています。ボランティアを招いて病棟内でコンサートを開いたり、劇遊びを交えたお散歩をしたり、スノーズレンで本物の雪に触れたり内容は様々です。患者様は特別な空間、雰囲気、目元や口元を緩めたり、身体を動かす姿がみられます。

今後も患者様の楽しい思い出作りのひとつとなるような充実した外出行事の計画・運営をしていきたいと思ひます。



外 来 再 診 の 診 療 体 制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

	月	火	水	木	金
第1診察室		山 崎	中 岡	山 崎	白 井直
第2診察室	久保田英	池 田 午前のみ		久保田英	
第3診察室	今 井		井 上		近 藤
第4診察室		鳥 取	日 吉		日 吉
第5診察室	池 田仁	池 田浩	池 田浩	寺 田清	寺 田清
第6診察室	芳 村			芳 村	松 平
第7診察室		荒 木		美 根	山 口
第8診察室		西 田	高 橋		
第9診察室	重 松			大 谷	大 谷

神 経 内 科

	月	火	水	木	金
第10診察室	午前 寺田達	小尾	小尾		小尾
	午後 小尾				
第11診察室	杉浦	杉浦	寺田達	山崎/馬場國 尾内(第4)	

特 殊 外 来

転倒予防外来	随時	小尾
認知症疾患医療センター	月・水	寺田達・小尾
遺伝相談	随時	高橋、小尾
禁煙外来	随時	池田仁
ねむけ外来	月	寺田清
包括的てんかん外科初診外来	火	白井

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、医療連携室(予約センター)を設置しています。ご利用ください。(平日)

TEL ■ 054-246-4580(初診)

054-246-1065(再診)

FAX ■ 054-246-4607

予約センターの受付時間

● 9:00 ~ 12:30 ● 13:30 ~ 17:00

E-mail ■ renkei@shizuokamind.org

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。
上記、医療連携室にお問い合わせください。

広 報 誌 編 集 委 員 会

編 集 人 ■

寺田 清人	佐藤 美喜子	坪井 千浩
矢嶋 隆宏	佐倉 裕二	松田 雄一郎
堀田 真子	高橋 輝	井上 和哉
大山 敏生		

発 行 ■ 平成 30 年 7 月 23 日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山 886

TEL ■ 054-245-5446

FAX ■ 054-247-9781

URL ■ <http://www.shizuokamind.org>

E-mail ■ shizuoka@shizuokamind.org

はじめて当院を受診される方へ

◆診察は予約制になっています◆

1 受診のための手続きは…

予約は、ご本人・ご家族から当院地域医療連携室(054-246-4580)へ、あるいは主治医の先生から当院地域医療連携室へ申し込んでください。その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわいし書類をお送りいたします。

2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,700円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

4 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

当院へのアクセス

access

バスを ご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗り、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人360円、小児180円。
	● JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,500円程度。
東京 方面から	● 東名高速清水インターより、静岡バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。
	● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
お車の場合	● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。
	● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
名古屋 方面から	



本

●抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

●てんかん症候群(第5版)

～乳幼児・小児・青年期のてんかん学～

【中山出版、2014年】

てんかん学の「ブルーガイド」として世界的に普及している「Epileptic Syndromes(原書第5版)」の日本語翻訳版です。4版よりも10%以上ボリュームが増え、より詳しい内容になり、他では決して得られない極めて貴重なてんかん発作の動画付き。静岡てんかん・神経医療センターのスタッフが総力をあげて翻訳しています。

●てんかんをめぐるアート展2016

【日興美術社、2016年】

当院が主催した第50回日本てんかん学会学術集会の折りに、「てんかんをめぐるアート展」を開催しました。その図録です。全国から集まった160点を収録しています。当院にて入手可能です。

●プライマリ・ケアのための

新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- 1 てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- 2 ホームページによる情報提供 <http://epilepsy-info.jp/>
- 3 てんかん協会との連携
- 4 医療などの相談(予定)